

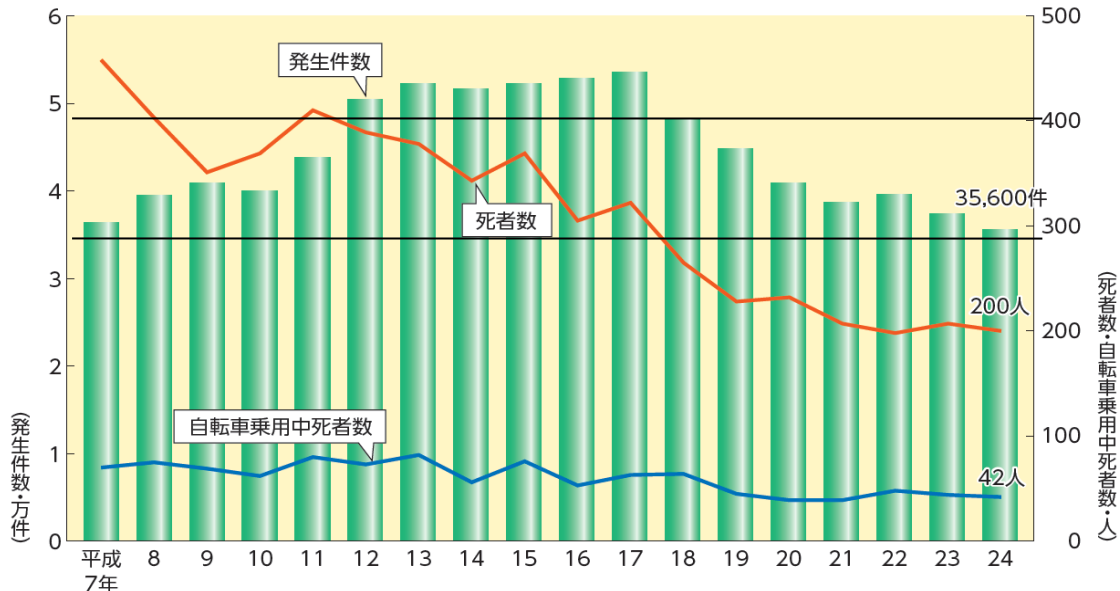


模範解答

出典「平成25年 グラフで見る彩の国さいたま（埼玉県総務部統計課編）」

() 年 () 組 () 番
名前 ()

① 交通事故の発生件数と死者数の推移



1 次の問題に答えましょう。(5問×20点)

(1) 交通事故の発生件数が、約5万件達したのは、平成何年ですか。

答え 平成12年

(2) 交通事故での死者数が、始めて300人を下回ったのは、平成何年ですか。

答え 平成18年

(3) 年代別の交通事故死者数の割合が二番目に多い年代は、何さい～何さいの間ですか。

答え 15さい～24さい

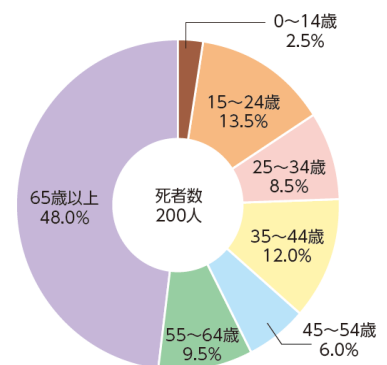
(4) 平成24年に、交通事故でなくなった65さい以上の人は何人いますか。

$$(式) 200 \times 0.48 = 96$$

答え 96人

(5) しょうたさんは、2つのグラフを見て、「平成24年の自転車乗用中の死者の割合は、約5分の1であると考えました。その考えは正しいですか。理由も書きましょう。

③ 年代別の交通事故死者数の割合 (平成24年)



しょうたさんの考えは、(正しい) です。 <例>

(理由) 平成24年の交通事故の死者数は、200人で、そのうち自転車乗用中死者数は、42人です。その割合は、 $42 \div 200 = 0.21$ で、約20%は、5分の1だから、しょうたさんの言っていることは正しいです。